

(2012.4.14)

マウイ訪問刺激に

宮古島市 中高生が体験報告



マウイ島交流プログラムの報告をする中高生ら11日、宮古島市役所平良庁舎

【宮古島】WUB(ワールドワイド・ウチナンチュ・ビジネス・アソシエーション)宮古支部(豊見山健児会長)が主催した、2012年宮古島・マウイ島青少年交流プログラムが3月17日から4月1日にかけて行われた。参加した宮古島市の中高生らが6日、宮古島市役所平良庁舎に長浜政治副市長を訪れ、現地での体験を報告した。

WUB支部主催で交流

参加者は、マウイ島で語が話せるか不安だったホームステイ体験のほか、郡長との面会や現地高校へ体験入学した。ホテルでは東日本大震災復興イベントとして書道パフォーマンスを行って義援金を募るなど、充実した体験をした。

下地菜奈さん(17)は「宮古高3年」は「最初は英

親切でありがたかった」と振り返った。木村梨菜さん(14)は「平良中3年」は「宮古の学校と違うところもたくさんあって、刺激になった」と話した。砂川裕磨君(17)は「宮古高3年」は「ほかのプログラムでは体験できないことができたと思う」と収穫を語った。長浜副市長は「違う文化に触れることは、これだけ感動することなどだと感じたと思う。文化の違いを肌で感じ、じかに見てきたことは今後の人間形成に大きな経験になる」と話した。参加者は書道パフォーマンスで募った義援金を、川満弘志教育長に手渡した。